

「深海生物の大気圧飼育と研究法の開発」

オーガナイザー：中川 勝統（名工大・工・物質工）

講師：小山 純弘 先生（海洋科技セ）

近年、ゲノムプロジェクトによってヒトゲノムの一次配列が明らかになり、また様々なタンパク質の三次元構造がX線結晶構造解析・電子線結晶構造解析などの手法によって解明されてきました。このように、地表付近の生命体に対しての生命科学の進歩は著しい一方で、地球外の生命体や深海生物については未だに神秘的な部分が多いのです。そんな中、NASAが火星に生命体探索機を送り、地球外生命体を探っています。このニュースは記憶に新しい人も多いのでは？

今回ご講演して下さる小山先生は、深海生物の神秘に取り組んでいらっしゃる一人です。高圧下で生息している深海生物を地表（大気圧）付近に持ってくるのも大変ということですが、小山先生の研究グループでは、地上での深海生物飼育装置を開発し、さらには深海生物の組織培養にも成功されています。それによって、深海生物についての研究が活発に行われ、この神秘が少しずつ明らかになってきている次第です……。

この分科会では、標本も用いてこの神秘についてより詳しく、そして楽しくお話ししていただけたと思います。みなさんのご参加をお待ちしております。